

1 労働災害発生状況 <平成30年2月末現在>

平成29年（平成30年2月末時点速報値）の死傷者数は466人で、

対前年同期比29人（6.6%）増加しました。

主要業種別内訳（発生人数順）

業種	対前年同期比	
商業	85人	6人（7.6%）増
建設業	71人	3人（4.1%）減
運輸交通業	62人	8人（14.8%）増
製造業	62人	6人（8.8%）減
保健衛生業	42人	7人（20.0%）増
林業	14人	4人（22.2%）減

事故の型別（発生人数順）

事故の型	構成割合
転倒	154人（33.0%）
墜落・転落	73人（15.7%）
動作の反動・無理な動作	44人（9.4%）
交通事故	39人（8.4%）
はさまれ・巻き込まれ	37人（7.9%）
切れ・こすれ	29人（6.2%）

平成30年（平成30年2月末時点速報値）の死傷者数は57人で、

対前年同期比5人（9.6%）増加しました。

主要業種別内訳（発生人数順）

業種	対前年同期比	
商業	13人	前年同期と同数
運輸交通業	62人	8人（14.8%）増
製造業	63人	5人（7.4%）減
保健衛生業	42人	7人（20.0%）増
林業	14人	4人（22.2%）減
建設業	5人	2人（28.6%）減

事故の型別（発生人数順）

事故の型	構成割合
転倒	33人（57.9%）
墜落・転落	12人（21.1%）
はさまれ・巻き込まれ	3人（5.3%）
交通事故	3人（5.3%）
激突	2人（3.5%）
飛来・落下	2人（3.5%）

～安全衛生管理水準の低下が危惧されます～

本年（平成30年）は、岩手県内・当署管内ともに前年同期比の死傷者数を上回り、労働災害が増加しています。また、岩手県内では建設業において死亡災害が立て続けに発生しています。

いずれの業種においても、安全衛生管理の水準が低下している可能性があり、労働者の高齢化の進展・安全文化の伝承がされていない・人員の不足など、様々な要因が考えられます。改めて安全衛生活動状況を総点検し、災害の未然防止を図りましょう。